

日高川町風力発電事業に 関する決議は否決に

■提出者・賛成者

提出者 原 孝文議員
賛成者 井藤満人議員

■内容

本町と隣接町界には既に53基の風力発電機が稼働中であり、また新たに45基が計画中で、基数増とともに大型化

が進められている。

近年、風力発電における健康被害が各地で報告され、特に風力発電機が発する低周波音は人や動物に様々な障害をもたらすことがヨーロッパ各地の医学研究で明らかになって来ており、本町にお

ても危惧される。また、風力発電事業には自然環境への影響、災害への心配などの問題点が指摘されている。

国の規制に向けた姿勢は見られず、建設されるれば住民は我慢する以外に道はない。既に被害が出ている可能性もあり、今後の基数増や大型化が進めば、町民の暮らしや健康に

とつて重大な影響を与えることが予想される。町は、町民の生活と財産を守り、様々な不安を取り除き、安心で安全な暮らしができる生活環境を整える責務がある。

よって、本議会は町の将来を見据え、下記の事項について決議する。
1 本町内及び本町の住民に影響をもたらす

ことが予測できる隣接市町への新たな風力発電機の建設は認めない。
2 現在稼働中の風力発電機については、現規格以上の大型化は認めない。
3 現在稼働中の風力

発電機の運転期間については、延長は認めない。

■結果

採決の結果、賛成少数で「否決」となりました。

人事



4月1日付けの人事異動により、前議会事務局長の藏道悦男さんが保健福祉課長となり、後任に前保健福祉課長の西晃史さんが新たに議会事務局長に着任しました。よろしくお願



春になると稚鮎が若野堤を遡上する。今年も楽しみで、川を見に行つた。

3月8日に初めて先走りが遡上した。昨年より1日早かったが、次の日から風も吹き、気温も下がったので、遡上が見られなくなった。

鮎を捕食する川鵜やサギも少ない。4月に入れば好転するかと思ひ、川を見に

行くが少ない。漁協が汲み上げ放流を始めたが、4トン車で運ぶほどの量がなかった。

桜の開花も早く、例年より花が散るのも遅かった。桜の花は、長く楽しめた。鮎は少ないのだから、予想は外れてほしい。

一昨年、昨年と小さいなりに数はあつたのに、今心配しても仕方がない。大漁を信じて秋を待ちたい。

(堀江 才二)